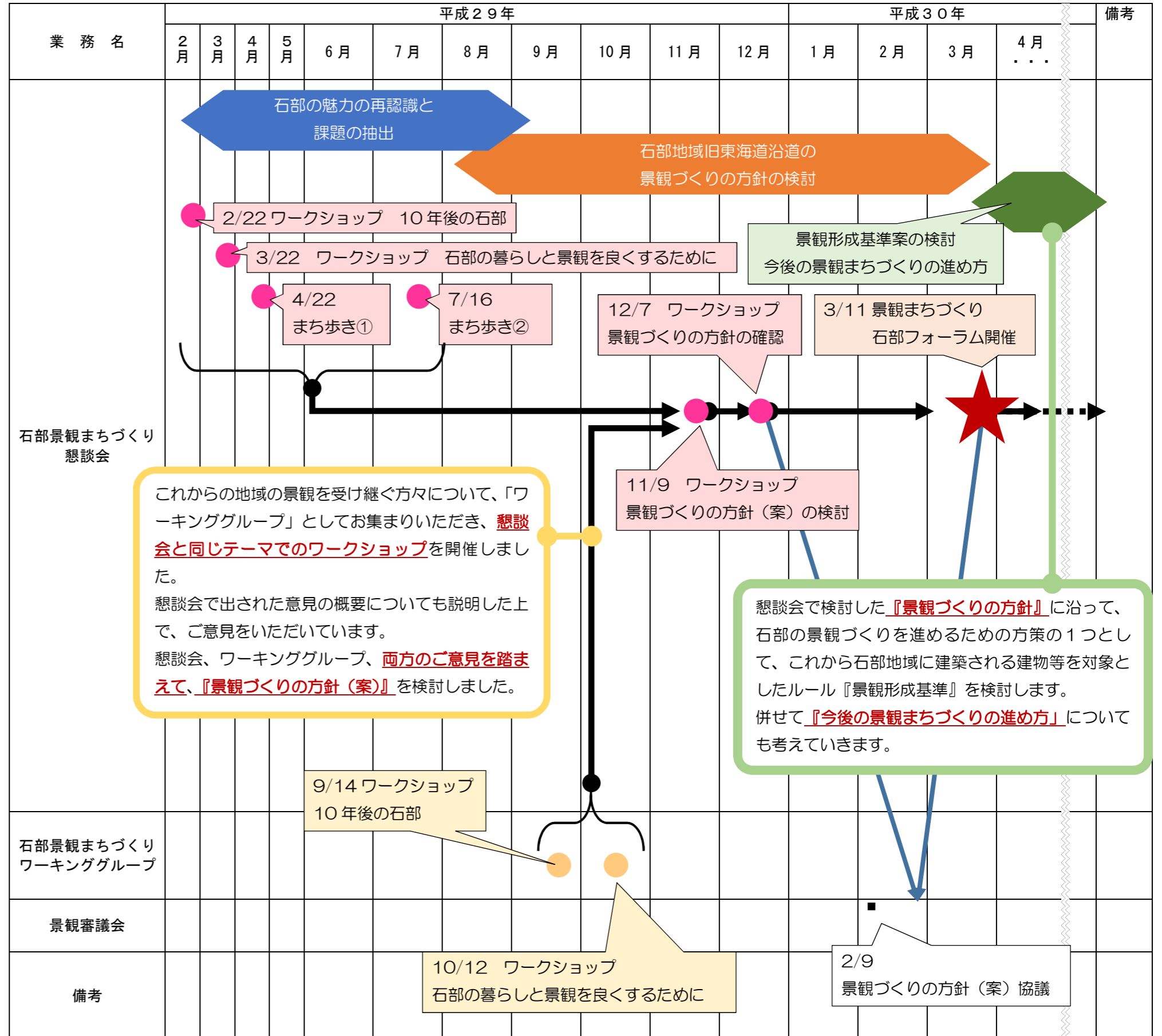


石部地域旧東海道沿道景観づくりの方針（案）について

1. これまでの石部の景観まちづくりの経緯と今後の進め方

平成 25 年 4 月	景観づくりの基本方針において、旧東海道沿道が景観計画の重点地区候補として位置づけられる
6 月	方針を受け、まちづくり協議会役員及び区長に対し、重点地区候補地であることの説明会を開催
平成 26 年 8 月	湖南省景観計画の策定に係る住民説明会を開催
平成 27 年 2 月	滋賀県と共催*で「石部の景観を考えるタウンミーティング」を開催
平成 28 年 12 月	滋賀県と共催*で「石部景観まちづくりシンポジウム」を開催
平成 29 年 2 月	「石部景観まちづくり懇談会」を発足 目的：「地域の魅力的な資源を生かし、その地域らしい豊かさが実感できる地域社会」、「次世代が地域に愛着と誇りを感じて暮らし続けられる地域社会」の実現をめざして、ワークショップを通じて意見交換しながら、次世代にどのような郷土を伝えていくのか、そのために何から取り組んだら良いのか、想いを集約すること
22 日	第 1 回 石部景観まちづくり懇談会 開催
3 月	22 日 第 2 回 石部景観まちづくり懇談会 開催
4 月	22 日 第 3 回 石部景観まちづくり懇談会 開催 (まちあるき①)
7 月	16 日 第 4 回 石部景観まちづくり懇談会 開催 (まちあるき②)
8 月	「石部景観まちづくり懇談会」の目的の実現に向けて、次世代の意見を反映するため、地域の若手を中心にワーキンググループを組織
9 月	14 日 第 1 回 ワーキンググループ 開催
10 月	12 日 第 2 回 ワーキンググループ 開催
11 月	9 日 第 5 回 石部景観まちづくり懇談会 開催
12 月	7 日 第 6 回 石部景観まちづくり懇談会 開催
平成 30 年 3 月	第 7 回 石部景観まちづくり懇談会・フォーラム 同時開催『景観まちづくり石部フォーラム』

*滋賀県は、平成 27 年度の県内の歴史街道に係る景観調査を行い、東海道をモデル地区として、つながりのある景観形成を推進しています。その一環として、旧東海道沿道において重点地区未指定の地域に対し、地域住民の景観意識の向上につながる取組みを行うこととし、2 度にわたり市と共催で石部地域で事業を実施しました。



2. 石部の景観づくりの方針（案）の考え方

湖南省景観計画では、景観計画区域内（市全域）において良好な景観の形成を図るため、特に必要があると認める区域を「重点地区」として設定し、その区域の景観の特性に応じた「景観づくりの方針」を定めるとともに、「届出の対象となる行為」や「景観形成基準」を設定しています。石部地域旧東海道沿道において良好な景観づくりを進めるため、重点地区の設定を目指して、「景観づくりの方針」を検討しました。

まず、懇談会・ワーキングでのご意見を踏まえ、「10年後の石部」や「暮らしと景観を良くするための取組み」に関するキーワードを整理しました。

これらの「キーワード」を基に、さらに意見交換を行い、「景観づくりの方針（案）」をまとめました。

第1回 石部景観まちづくり懇談会	第2回 石部景観まちづくり懇談会	第3回 石部景観まちづくり懇談会（まちあるき①）	第4回 石部景観まちづくり懇談会（まちあるき②）
<p>「10年後の石部」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を行いました。</p> <p><まちなみや景観のイメージ> 伝統的な建築を地域で大切に守りながら、伝統的な建造物の様式や雰囲気との調和に配慮した家々が建ち並び、歴史街道らしさ、石部宿らしさが感じられるまちなみ</p> <p><生活や暮らしのイメージ> 高齢者、若者、子どもが一緒に暮らし、地域のコミュニティが形成されているまち</p> <p><地域の課題・気になること> 空き家、空き地といった地域の空洞化や安心・安全なまちづくり</p> 	<p>「石部の暮らしと景観を良くするために取り組むこと」について、ワークショップ形式で意見交換を行いました。</p> <p><まちなみや景観に関する主なご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺と調和のとれた建て方・色の統一 ・景観を保全するための補助金の創設 ・空き家・空き家の有効活用 ・車と歩行者の安心・安全な道づくり・カラー舗装化 ・井戸の復活、側溝の開渠化 ・電柱の無い町・無電柱化の促進 	<p>地域の歴史や文化について、コーディネーターからお話を伺いながら、現地の景観の状況を確認するとともに、「10年後の石部を実現するための景観づくりのポイント」となる事柄について、気が付いた点等について意見交換を行いました。</p> <p><良い景観、残していきたい景観></p> <ul style="list-style-type: none"> ・街道沿いの街並/街道の名残・山からの傾斜と家並。 ・住民のつながりが、美しい景観保存に一定の役割を果たしている。(例として愛宕まつり、街道ウォークサポート) ・伝統的な様式を取り入れた風格を感じさせる建築物が今もなお残されており、時代が感じられる 	<p><良くない景観、気になる景観></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい建物の中には？と思うものが有った。(高さ、色、軒高など。) ・イルミネーションの電球 ・スーパー等の大型看板 ・古すぎる案内看板 ・空家対策・街道沿いの空き地/雑草に覆われ見た目が悪い。 ・道路と家並を分けていた溝がフタされていること。 
第1回 ワーキンググループ	第2回 ワーキンググループ	第5回 石部景観まちづくり懇談会	第6回 石部景観まちづくり懇談会
<p>「10年後の石部」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を行いました。</p> <p><まちなみや景観のイメージ> 宿場町の歴史と四季の彩が感じられる、安心して行き交うことのできる、きれいなまち</p> <p><生活や暮らしのイメージ> 地域で長く続いた商店の空き店舗や空き家を活かした個性が感じられる商店が並び、若者にも暮らしやすいまち 伝統的な祭事が人々の暮らしに根付いているまち</p> <p><地域の課題・気になること> 空き地・空き家・空き店舗等による地域の空洞化 若者が地域から離れていく</p> 	<p>「石部の暮らしと景観を良くするために取り組むこと」について、ワークショップ形式で意見交換を行いました。</p> <p><まちなみや景観に関するご意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石部のドレスコードづくり・味のあるつくりの家 ・空家と空家周辺の利活用・適切な維持管理 ・側溝に物を置かない等、街並の美化を推進する ・車と歩行者の安心・安全な道づくり ・オリジナル飛び出しぼうやの作成 ・旧道的美装化（石畳にする） ・住民への「美」意識の啓発 	<p>景観づくりの方針（案）について、ワークショップ形式で意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石部の景観づくりの方針に盛り込みたい「想い」について、これまでの懇談会およびワーキンググループのご意見を踏まえ、市が整理、提案した内容に対して、特に大きな修正や追加が必要となるご意見はありませんでした。 ・具体的な景観整備や空き家の活用方策、景観ルールの導入など、景観づくりの方針よりも、さらに先のステップに関するご意見を多くいただきました。 	<p>前回の懇談会のまとめ、講評を行うとともに、景観づくりの方針案について意見交換を行いました。</p> <p><石部地域旧東海道沿道の景観づくりの方針（案）について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が方針案のたたき台を作成し、その内容についてご意見を頂きました。 ・盛り込みたい「想い」が広く市民の方々に伝わるよう、活発な意見交換を行い、原案の修正を行いました。 

「10年後の石部」のキーワード

宿場町としての歴史

美しいまち

祭り

安心・安全

商店街のにぎわい

住民の活動

若い世帯の
転入・居住

暮らしやすさ

コミュニティ

空地・空家対策

歴史・自然・
まつりの保全・継承

にぎわいの
創出

暮らしと景観を良くするための取組みに関するキーワード

空家対策

若い世代との交流

こどものための
環境づくり

おもてなしの
演出

街並みの
ルールづくり

まちの美化

住民と行政の
協働

安心・安全な
まちづくり

3. 石部地域旧東海道沿道の景観づくりの方針（案）

「景観づくりの方針」は、『景観形成基準等に係る方針』と、『協働による景観づくり活動等に係る方針』から成ります。また、意見交換の中で出てきた「方針に盛り込みたい想い」の数々についても、景観計画に記載します。

石部宿の歴史と未来をつなぐ、にぎわいある今を映す街並みづくり

～先人が積み重ねてきた各時代を映す街並み、社寺、祭の風景の上に、

百年先にも資産・財産となる質の高い営みを積み重ねる景観づくり～

- ・東海道の宿場として栄えた歴史的な雰囲気大切にしつつ、時代に合わせて更新される街並みの積み重ねにより、百年先にも誇りをもって住み継ぐことのできる美しい景観を目指します。
- ・街道の沿道に住む人、街道を行き交う人により育まれた豊かな文化が感じられる名所旧跡や、伝統的な様式を取り入れた風格を感じさせる建築物、歴史ある祭などの歴史を感じさせる地域資源を大切に継承し続けます。
- ・店舗や戸建住宅、集合住宅等、多様な形態の建築物が調和を保ちながら、歴史ある石部の活気を感じさせる景観の創造を目指します。



石部宿に暮らす人々、行き交う人々にとって魅力ある共有空間づくり

～宿場町に暮らす人々の“営み”と“おもてなし”が行きかう

人々の心とも響き合う景観づくり～

- ・地域に暮らす人々に大切に伝えられてきた伝統的な祭事の舞台、住まう人の丁寧な暮らしぶりが感じられる玄関まわりのしつらい、四季折々の変化を感じながら散歩を楽しむことができる場として東海道・石部宿の価値を見つめ直し、住民だけでなく来訪者にとっても魅力ある空間づくりを目指します。
- ・駅や商業施設を活かした利便性の高い、車と歩行者が安全安心に通行できる、暮らしやすいまちを目指します。
- ・幅広い世代の住民が互いに協力し、暮らしの中で誰もが活躍できるまちづくりを目指します。



ここで検討した「方針」に基づき、石部地域旧東海道沿道の建物の形態・意匠等、街並みに関するルールとなる「景観形成基準」を検討します。今後、この地域で行う景観に関する市の事業についても、ここで定めた方針に基づき取り組みを進めます。

景観形成基準等に係る方針に盛り込む想い

- ⇒東海道の宿場町に端を発し、時代に合わせて生業や建物等を更新してきた石部の街並みの特徴を大切にし、これからも時代に合わせて少しずつ建物が更新され、伝統・懐かしさと現代・新しさが共存する暮らしやすいまち
- ⇒街道沿いの歴史を感じさせる伝統的な建築物、吉御子神社や吉姫神社、愛宕神社、寺院など、石部宿の歴史・伝統を感じさせる景観資源をこれからも守り、誇りを持って住み継ぐまち
- ⇒商店や戸建て住宅、集合住宅など、用途や規模によって異なる建築物の特性に合わせ、きめ細かく街並みのルールを設定することにより、様々な建築物が調和を保って建ち並ぶ品の良い、落ち着いた街並みのまち

協働による景観まちづくり活動等に係る方針に盛り込む想い

- ⇒東海道は、自動車中心の通行空間ではなく、街道沿いや近隣に住まう人々の交流の場となる共有空間として、安全性を高めるとともに、街道を訪れる人に『東海道・石部宿』を印象付ける、訪れる人と地元の人との交流の場、地域の誇り・共有財産として大切にする
- ⇒住民同士の適度なつながりにより、美化活動など、さまざまな地域ぐるみの活動や伝統行事の取組みを維持し、全ての世代が快適に暮らすまちづくりに取り組む
- ⇒子どもからシニアまで、石部の歴史や魅力、石部に住まう者としての心意気を学ぶ機会、活躍できる場を設け、美しいまちづくりを担う人材を発掘し育てる
- ⇒ショーウィンドウや軒先、庭先の空間を利用して、花や緑で自らだけでなく行き交う人も楽しませるなど、心豊かに暮らせるまちづくりに取り組む
- ⇒空家対策や交流の場づくり、美化管理のルール化、安全性の確保など、地域の景観の課題について、住民・事業者・行政が、それぞれに役割を担いながら、共に取り組む